



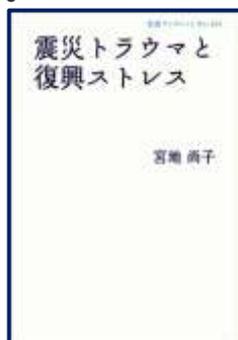
ぶっく★まーく

# 編集スタッフのおすすめ



このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



**震災トラウマと復興ストレス**  
2011年 岩波書店

宮地 尚子 (著)

真ん中に内海のある環状島をモデルに、被災者・支援者だけでなく、どちらにも当てはまらない人についても説明している本書。震災のもやもやが整理できました。(ぽっと)

[300-2]



LGBT ってなんだろう?

—からだの性・こころの性・好きになる性

2014年 合同出版

薬師美芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津己 (著)

自分の中のいろんな「性」に初めて気づく子どもたちへの配慮はまだまだ充分とはいえない。具体的な対応も豊富にあり、特に教育現場の方には読んでほしい。(ルナ)

[300-5]



**わたしのカラダは、私が守る  
女性ホルモンの教科書**  
2016年 日経BP社

黒住紗織・佐田節子 (著)、他

知らなくて損をした！取り戻せない一生の後悔になる前に、自分のカラダのことをよく知って、快適で悔いのない人生を送ろう。すべての女性に役立つ一冊。(ルナ)

[300-6]



ジェンダーで読む福祉社会

1999年 有斐閣

杉本 貴代栄 (著)

いまだ潜在する、「福祉の担い手は女性」という意識。ジェンダーと社会福祉について、身近な音楽やCMなどを採り入れ、わかりやすく説く本書。納得を重ねながら、ページを繰る。(みっと)

[1000-1]

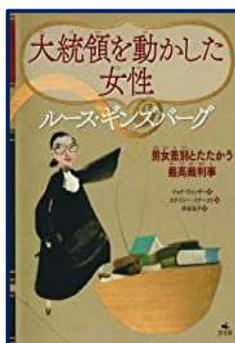


**むらさきのスカートの女**  
2019年 朝日新聞出版

今村 夏子 (著)

紫のスカートの女につきまとう黄色いセーターの女。相反する生きざまでありながらも、二人には一体化する部分も…。人の心の奥に潜むものは？と、問いかけてくる作品。(みっと)

[1200-2]



大統領を動かした女性  
ルース・ギンズバーク

—男女差別とたたかう最高裁判事

2018年 汐文社

ジョナ・ウィンター (著)、他

女性が弁護士になることも難しい時代に弁護士になり、アメリカ女性のために戦い、世の中を変えていったルース。多くの場で少数の立場であっても、あきらめず進み続ける。(ぽっと)

[2000]

## 新着図書情報(一部抜粋)

図書名	検索番号	著者	出版社
みんなの「わがまま」入門	100-4	富永京子 (著)	左右社
ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた	400-3	一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同 (著)	明石書店
ヤングケアラー—介護を担う子ども・若者の現実	1000-2	澁谷智子 (著)	中央公論新社
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	1100-3	ブレイディみかこ (著)	新潮社
数字はわたしのことば	2000	シェリル・バード (著) 他	ほるぷ出版

## 編集後記

今号の本選び・原稿作成は、新型コロナ禍真っ最中。日本中が、いや世界中のみんなが同時に当事者になり、おびえて声高に他者を非難する人が現れた。読んだ本「あなたの何気ない励ましが人生を変える」とあった。そう！今こそ、心を落ち着かせてお互いを思いやるべき時だ。『ぶっく★まーく』のおかげで出会った本に励まされた私。(ルナ)